



平成 19 年 10 月 24 日

各 位

会社名 **アンリツ株式会社**
代表者名 代表取締役社長 戸田 博道
(コード番号 6754 東証第一部)
問合せ先 IR推進部長 高野 光祥
(TEL 046 - 296 - 6507)

連結中間期業績に関するお知らせ

本日、発表しました連結中間期業績に関しまして、前回（平成19年4月25日）発表予想から適時開示に該当する乖離がありましたので、その差異について下記のとおりお知らせ致します。

I. 20年3月期中間(連結)業績について（平成19年4月1日～平成19年9月30日）

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A) (平成19年4月25日発表)	47,500	1,300	300	△400
中間期実績(B)	48,812	1,276	△316	△174
増減額(B-A)	1,312	△24	△617	226
増減率(%)	2.8	△1.8	—	—
前中間期(平成19年3月期中間)実績	46,493	1,873	306	△410

II. 差異の理由

本業を示す営業利益につきましては、ほぼ前回の発表予想値を確保できましたが、経常利益は棚卸資産評価損や経営構造改革費用の増加により約3億円の赤字となりました（前回発表予想は3億円の黒字）。また中間純利益は、繰延税金資産の見直し等により約2億円の赤字（前回発表予想は4億円の赤字）となりました。

III. 通期業績予想について

平成20年3月期通期の連結業績予想につきましては、本日発表した中間決算短信に記載しております。

(注意事項)

本発表資料に記載されている、アンリツの現在の計画、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通しです。これらの記述は、現在入手可能な情報による当社経営陣の仮定や判断に基づくものであり、リスクや不確実な要因を含んでおります。実際の業績は、さまざまな要因により、これら見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。また、法令で求められている場合を除き、アンリツは、あらたな情報、将来の事象により、将来の見通しを修正して公表する義務を負うものではありません。

実際の業績に影響を与える重要な要因は、アンリツの事業領域を取り巻く日本、米州、欧州、アジア等の経済情勢、アンリツの製品、サービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、激しい競争にさらされた市場のなかでアンリツが引き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを提供できる能力、為替レートなどです。ただし、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。